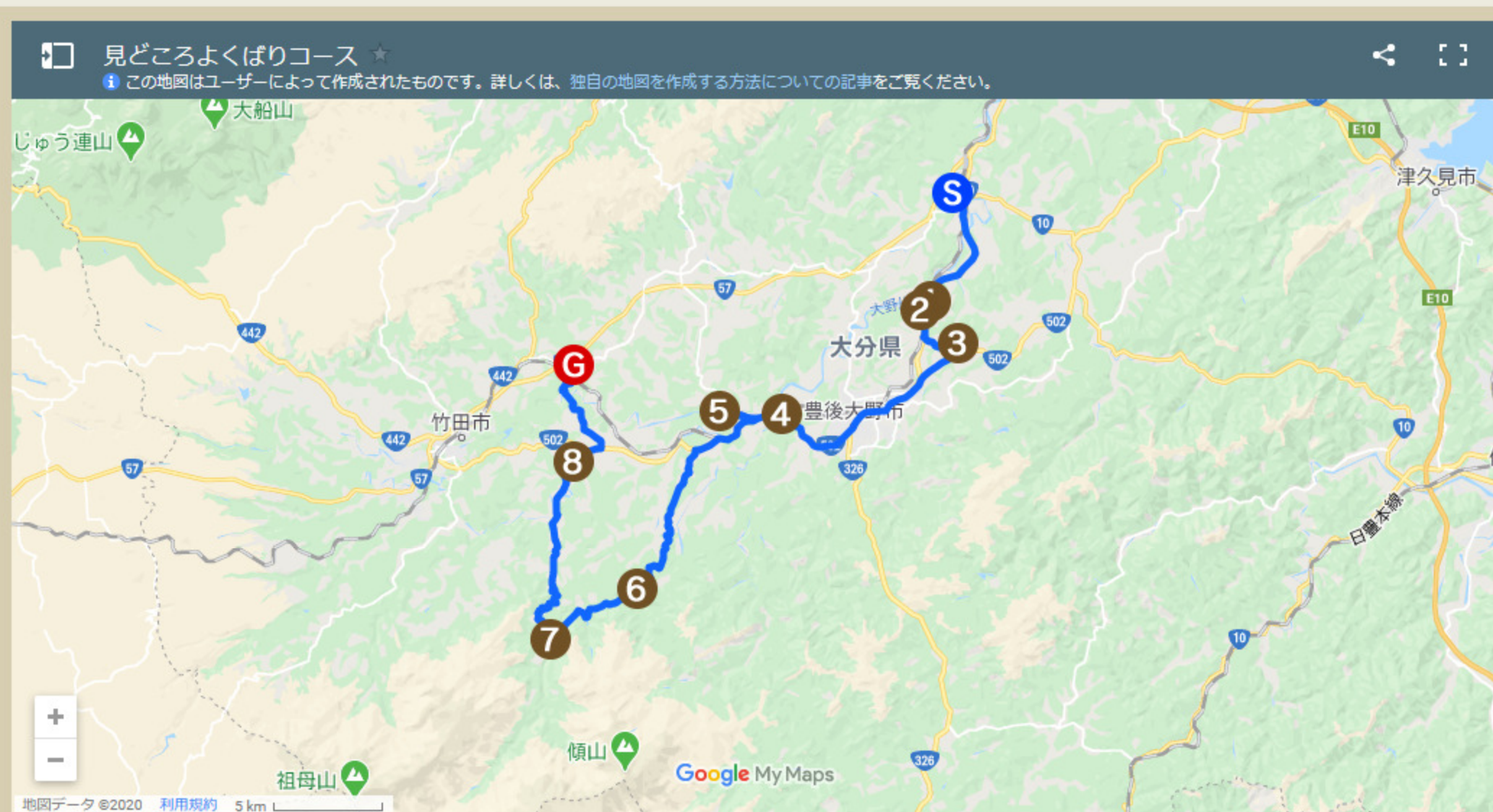
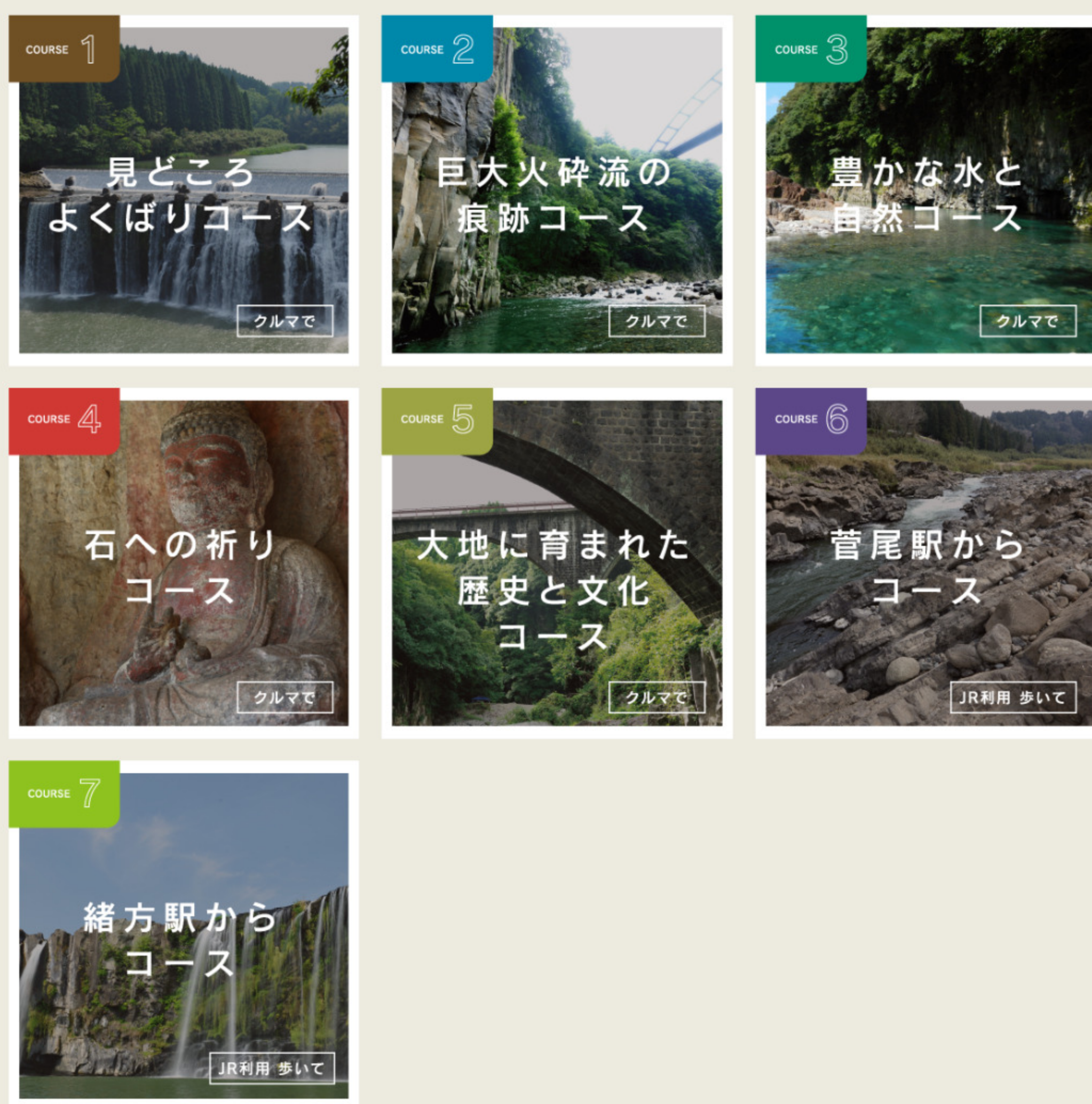


破局的な巨大火砕流から9万年を経て、彩り豊かに蘇った大地の軌跡。

周遊モデルコース紹介



クルマで

見どころよくばりコース

おおいた豊後大野ジオパークの代表的な見どころを1日かけて回るよくばりなコースです。
滝、石橋、磨崖仏と、おおいた豊後大野ジオパークのエッセンスを満喫できます。



えないど けい
江内川の景

道の駅みえ

大野川がもたらした豊かな大地

「道の駅みえ」から眺められる風景は「江内川の景」と呼ばれ、豊かな穀倉地帯をゆったりと流れる大野川を望むことができます。



こうかんきょう
虹濁橋

商人によって架けられた美しい橋

谷を渡る虹のような橋という意味で、江戸時代の後期、文政七年（1824年）に完成しました。堅牢かつ美しい石橋で、国の重要文化財に指定されています。



ちんだ たき
沈墮の滝

雪舟も描いた名瀑

大野川の本流にかかる雄滝は幅約100m、高さは約20mあります。室町時代に雪舟がここを訪れ、「銀田瀑図」を描いたことでも有名です。



たいびききょう
滞迫峡

高さ70mにおよぶ柱状節理の絶壁

両側を柱状節理の発達した溶結凝灰岩の絶壁で囲まれた、奥岳川沿いの峡谷です。崖の高さは70mにおよびます。

犬飼IC

約10分

1

道の駅みえ

約10分

2

菅尾磨崖仏

約10分

3

約25分

4

約5分

5

道の駅きよかわ

約20分

6

約10分

7

約20分

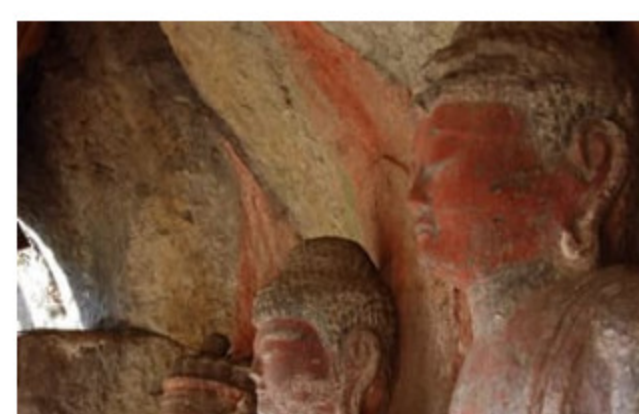
8

道の駅原尻の滝

約15分

朝地IC

*時間は駐車場（または駐車スペース）間の一般的な所要時間です。見学時間等は含まれていません。



すおまがいのつ
菅尾磨崖仏

豊後大野を代表する精緻な作りの磨崖仏

平安時代後期に作られた5体の磨崖仏で、約9万年前の阿蘇火砕流の溶結凝灰岩に彫られています。京都や奈良の木造の仏像と比べても遜色なく、国の重要文化財に指定されています。



いわど けいかん
岩戸の景観

二層の火砕流が重なる鉄道ファンの聖地

大野川と奥岳川の合流点にそびえる絶壁です。崖の下半分は阿蘇火山の3 回目の巨大噴火、上半分が4 回目の巨大噴火による火砕流でできています。



であいばし とどろばし
出会橋・轟橋

日本一と二位の石橋の競演

轟橋は昭和9年に架けられた2連のアーチ式石橋で、広いはの径間（アーチの幅）が32.1mと日本一を誇ります。出会橋は大正13年に架けられ、径間が29.3mと日本第二位です。



はらじり たき
原尻の滝

平地に突然現れる東洋のナイアガラ

およそ9万年前の阿蘇火山の4 回目の巨大噴火による火砕流が冷えて固まった溶結凝灰岩が崩落してできた滝です。幅は約120m、高さは約20mあります。